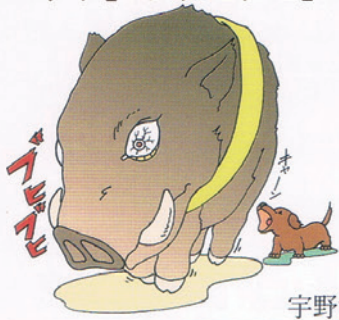


『コテツ』から『ブヒブヒ』にバトンタッチ



宇野沢君作

礎

発行責任者 幕田 勝 浩
発 行 三春町商工会青年部
総 務 委 員 会
委員長 宗 像 俊 樹
発行日 平成19年3月30日
印 刷 土 棚 印 刷



青年部部长 幕田 勝浩

三春町商工会青年部長
という大役をお預かりし
て、間もなく2年が経と
うとしております。

県内でも有数の部員数
を誇り、内容的にも高く
評価されている青年部で
活動出来ました事、ひと
えに青年部員一人一人の
支え、そして町民の皆様
方の御支持の賜物だと思
います。

先日、商工会青年部の
全国大会が、東京・日本
武道館で開催され参加し
てまいりました。

その中で全国連部長が、
青年部は単なるイベント
を行ったり、親睦を深め
たりするだけの団体では
なく、まずは自社の発展、
そして地域のためになら
なければ存在の意義がな

いとの話をされました。
確かに三春町において商
工会青年部は、その地域
活動においてはなくては
ならない団体と自負して
おりますが、自己満足に
陥ることなく先を見据え
た活動をしなくてはとあ
らためて感じたところで
あります。

近年、私が心掛けてい
る言葉に「ノブレス・オ
ブリージュ」という西洋
の言葉があります。日本
では「位高ければ義務多
し」や「高貴な者に伴う
義務」などと訳されてお
ります。騎士道精神に基
づく言葉で、一朝ことあ
れば真先に戦場に駆けつ
けるといふような意味で
す。私達に当てはめれば、
これからの日本・地域を
形成していく上で、諸事
に渡って率先して参加活
動しなさいという意味に
なるかと思いますが、心
意気としてぜひ持ち続け
て行きたいと思っていま
す。
景気全体は、バブル以
来の好景気という状況で

すが、地方経済において
はあまりその影響を感じ
得ないのが、実感である
と思います。その中で商
工会青年部員としてやる
べき事は、守るべきもの
は守り、積極的に行くべ
きところは行くという前
向きな気持ちを持つ事
です。

地方の人に、自分の地
方は元気がないんだけれ
どもどうしたらよいで
しょうかと聞かれた時の
答えです。
『だったらお前自身が
元気出せ。
お前ら皆が元気出せば
地方は元気になるよ』

桜スタンプラリー開催

4月1日より

この度、装いも新たにスタンプラリーを
開催する事となりました。

パンフレットと各スタンプポイントには
「QRコード」を設置してお手持ちの携帯電話と
連携した楽しみなど盛りだくさんです。

スタンプ押印ポイント

- ①高乾院 ②八幡町神社 ③福聚寺
④田村大元神社 ⑤浪岡邸 桜
⑥王子神社 ⑦法華寺



<http://www.miharu-s.com/stamp/>

お手持ちの携帯電話に、QRコードの読み取り機能が無い場合は
こちらのアドレスを入力頂ければ、閲覧可能です。

平成18年度 事業報告

- 4月15～16日 観光案内所開設
- 4月22～23日 観光案内所開設
- 5月15日 第38回青年部通常総会
- 5月29日 青年部「礎」発刊・配布
- 6月14日 第9回青年部ゴルフ大会
- 7月14日 町長と青年部との意見交換会
- 7月30日 バーベキュー大会
- 10月15日 第10回記念ゴルフ大会
- 10月27～29日 第57回一関地方産業まつり商工祭参加
- 11月4日 ゆどろふ食べくらべ三春地区大会
- 11月17日 ボウリング大会
- 12月13日 田村地区若手後継者育成事業研修
- 平成19年1月17日 青年部主張発表田村地区大会
- 1月25日 田村地区若手後継者育成事業研修
- 1月26日 田村地区青年部ボウリング大会
- 1月26日 平成18年度臨時部員総会
- 2月11日 青年部新年会
- 2月21日 スキーツアー
- 2月21日 第9回青年部全国大会
- 2月21～22日 部員研修旅行
- 2月27～3月1日 田村地区若手後継者育成事業研修
- 2月27～3月1日 京都順正ゆどろふ食べくらべ全国大会



一関産業まつり 10月27日(金)～29日(日)



毎年恒例の一関産業まつりに今回も三春町を代表して参加して来ました。三春の「三角油揚げ」、「ゆべし」はさすがに浸透してきていますが、今回名指しが多かったのは味噌と漬物でした。取寄せのご希望も増えてきているようです。日程のせいか、出展しているお店の数が去年と比べ少し減っていたのが残念でした。



町との懇談会

7月14日(金) 第四回目となる町との懇談会は去年に引き続き鈴木町長と影山課長(産業建設課)をお招きし、意見交換会を開催しました。町としては、青年部活動に対して協力を惜しまないと言っていたが、青年部の更なる努力を期待しますと励ましの言葉を頂きました。その時のお話では、三春を通るクラシックカーレースを町の中のコースにしたいと折衝中との事で、見事実現しました。また、みはる秋まつりについては継続していきたいと言われ、春の桜に負けない観光資源(例えば、もみじ等)も造りたいとのお話でした。

企画厚生委員会

今年度の企画厚生委員会では、青年部員の親睦を深め、青年部員の家族とのふれあいをテーマに活動しました。6月4日には第9回目となるゴルフ大会、10月15日には第10回目を行いました。特に第10回目のゴルフ大会は、記念大会と称し24名の参加者で石川カントリークラブにて行い、優勝は青年部OBの根本昌師さんでした。また、11月17日には毎年恒例となっているボウリング大会を行い過去最多の84名の参加者を頂きアピアボ



青年部主張発表

1月17日(水) 船引町商工会館にて

三春町商工会青年部を代表し
中町支部の山口 晋司君が
出場し優秀賞を頂いてきました。(写真左)

会青年部主張発表田村地区



おめでとうございます

ゆどうふ食べくらべ 三春地区大会



三春秋まつり

11月4日(土)~5日(日)



第3回目となる三春秋まつりが開催され、商工会青年部では4日に「第3回ゆどうふ食べくらべ大会」を開催しました。

総勢29名の参加者が、恒例となった京都で行われる全国大会出場と豪華賞品を賭け優勝を争った結果、7丁を平らげた三春町役場の有賀仁一さんが優勝しました。

なんと女性の方が、わずかの差で準優勝でした。

「京都物産PR及び 湯豆腐食べくらべ全国大会」

日時：2月28日(水)
場所：京都 清水寺門前 順正

昨年秋の三春秋まつりで「湯豆腐食べくらべ大会」で見事優勝をした有賀仁一さんが京都で行われた全国大会に参加いたしました。



おしくも6位という順位でしたが、同行した全員が感動する食べっぷりでした。

商工会青年部全国大会

2月21日(水)

青年部活動に 最高賞受賞!

日本武道館で開催された「商工会青年部全国大会」へ参加してきました。福島県代表の方が東北代表として主張発表を行い優秀賞を獲得されました。ゲストで歌手の松山千春氏が講演と歌を披露して下さいました。

その夜は、懇親会が赤坂プリンスホテルにて催され、全国の青年部の方々と交流を図りました。

翌日は都内のイトーヨーカ堂にて、田村地方の特産品のPRを行ってきました。

坂一
三春に最高賞
全国商工会青年部連表彰
会津坂下町商工会青年部と三春町商工会青年部が最高賞の中小企業庁長官賞に選ばれた。

(福島民報 3月14日掲載)

部全国組織化40周年記念大会



今年度は多くの活動を行い部員、そして家族の皆様には大変お世話になりました。深く感謝致します。

最後に、この2年間私なりに初めての事ばかりで大変ご迷惑をお掛けしたと思いますが充実した2年間となりました。この場を借りて皆様にはお礼を申し上げます。最後の言葉とさせていただきます。

勝は八幡町支部の白谷夏樹さんでした。

そして、今回のテーマとなる活動として7月30日にホテルリステル猪苗代でパーベキュー大会を行いました。部員、家族合わせて32名と多くの方に参加して頂き初めてこの様な企画を行いました。大変盛り上がり交流、親睦を深めた一日となりました。

本年度の新年会も昨年と同様、多くの方に参加をして頂きました。

2月11日にはこれも初めてとなるスキーツアーを猪苗代リゾートスキー場で行い、部員、家族合わせて35名もの多くの方々に参加して頂きました。早朝からそして帰りは交通渋滞で夜遅くなりましたが十分満喫した一日を過ごすことができました。

企画厚生委員会委員長 安積和則

青年部 NEW FACE.

昭和54年8月7日生まれ
趣味：バイク
がんばりますのでよろしく願います。



壁寸 豊
荒町支部
壁寸建築

昭和56年3月26日生まれ
趣味：料理
三春が大好きです。みなさん宜しく願います。



幕田 祐二
中町支部
三ツ美屋旅館

昭和57年9月3日生まれ
趣味：野球
みなさんのお役に立てるよう一生懸命頑張りたいと思います。



本田 康朗
八幡町支部
本田電設㈱

プライバシー保護

卒業生紹介

ご苦労さまでした

大町支部 宇野澤 健夫

私もとうとう独身のまま四十歳となり、商工会青年部を卒業します。

副部長の時、部長の代理で女性部の新年会にお呼ばれをしました。書いてもらった青年部代表の挨拶を棒読みで終え、緊張の糸がプツンと切れた私は安堵感の中で、美味しい酒を煽り続けました。

女性部の方々が気を使ってくださいました。

また、青年部に入部して以来、毎年欠かさず参加した『一関産業祭』。昼に行く魚屋さんでの酒が美味しく、いつもほろ酔い状態でした。

一緒に行った方には迷惑だった事と思います、すいませんでした。しかし、自分には楽しい思い出です。

最後に、毎年『礎』に描かせていただいていた干支の絵は、今年で最後かと思うと寂しいです。

長い間お世話になり、ありがとうございました。